



下川町イメージキャラクター  
「しもりん」

# 森林と大地と人が輝くまち

## ～下川町の紹介～



### 1 概要

下川町は北海道北部に位置し、東西約 20km、南北約 30km で町の面積（東京都 23 区の面積に相当）のうち約 90%が森林で、自然に恵まれた町です。

夏の最高気温は約30°C、冬は約-30°Cと寒暖の差が激しく、基幹産業は、豊かな自然の恵みを活かした農林業です。

下川町へは、札幌市から高速利用で約 3 時間（240km）、旭川市から高速利用で約 1 時間 30 分、名寄市から約 20 分です。

人口：2,859 人（R6.4.1 現在） 面積：644.54 k㎡



### 2 まちづくりの特色

☆環境モデル都市（平成 20 年 7 月認定）

☆環境未来都市（平成 23 年 12 月選定）

☆バイオマス産業都市（平成 25 年 6 月選定）

☆地域活性化モデルケース（平成 26 年 5 月選定）

☆第 1 回ジャパン SDGs アワード

内閣総理大臣賞（平成 29 年 12 月受賞）

☆「SDGs 未来都市」及び「自治体 SDGs モデル事業」

（平成 30 年 6 月選定）

など

※国から認定、選定を受け、全国の小規模市町村のモデルとなるよう、移住・定住施策など積極的に施策を進めています。



- ・伐採と植樹を繰り返す「循環型森林経営」を基盤とし、環境に配慮した持続可能な森林づくりや森林バイオマスの活用やカーボンオフセット、森林環境教育、超高齢化対策、子育て支援などを進めています。



- ・農業では、ハウス栽培を中心としたフルーツトマト、ホワイトアスパラ等の生産が盛んで、新規就農者用の研修道場も整備し、就農に向けた体制も整えています。酪農では、飼料の一元化や作業の共同化によりコストの削減・効率化を進めています。

- ・冬のしほれ（寒さ）を逆手にとった北海道の冬の風物詩「アイスキャンドル」発祥の地です。
- ・スキージャンプ競技でオリンピックのメダリストや国内外で活躍する数多くの選手を輩出。  
「レジェンド」葛西紀明選手や、北京オリンピック日本女子代表伊藤有希選手は、下川町出身です。



### 3 特産品・イベントなど



コシの強さとなめらかな口当たりが人気  
日本最北の「手延へ麺」



完熟トマト 100%  
とまとジュース「ふるさとの元気」



14年の歳月をかけて築城した  
全長2kmの「万里長城」

・下川3大イベント 万里長城祭（5月） うどん祭り（8月） アイスキャンドルミュージアム（2月）

### 4 役場の組織機構（令和6年4月現在）176名

町長部局…総務企画課（4係3室15人）、産業振興課（4係(施設)1室14人）、税務住民課（3係9人）、保健福祉課（10係(施設等)1室29人）、建設水道課（3係8人）、出納室（2人）、特別養護老人ホーム・デイサービス、生活支援ハウス（20人）、障害者支援施設（23人）  
教育委員会…（11人）議会事務局（2人）、農業委員会事務局（1人）  
町立下川病院（28人）、上川北部消防事務組合下川消防署（14人）

※職員の政策形成能力向上のため、人材育成に力を入れており、国等への機関に職員を多数派遣しています。  
派遣実績：総務省、内閣府、農林水産省、環境省、北海道経済産業局、北海道、北海道後期高齢者医療広域連合、京都府京丹波町、総務省自治大学校など多数。

### 5 先輩からのメッセージ



総務企画課  
世岡 祐希  
(令和5年度採用)

下川町は自然豊かな町であり、伐採と植樹を繰り返す「循環型森林経営」によって、豊かな自然を次の世代につないでいきます。国からSDGs未来都市への選定等を受け、全国の小規模市町村のモデルとなるよう挑戦を続けています。

そのような挑戦を続けると同時に、下川町の職員は町民の暮らしがより豊かになるよう、日々努めています。

また、下川町には大自然の魅力のほかにも、様々な魅力がありますが、一番の魅力は心優しい方が多いことだと思っています。私自身、心優しい町民の皆様や職場の先輩に何度もお世話になっています。

心優しい方が多く、「森林と大地と人が輝くまち」である下川町を一緒によりよくしていきませんか？

### 6 ホームページアドレス <https://www.town.shimokawa.hokkaido.jp>

